

記入例

◎申請書は10年用と5年用があります。

※未成年の方は5年用のみです。(年齢は、誕生日の前日に加算されます。)

◎折り曲げたり、破れたり、しわになったり、汚れたりした申請書は受付できません。

所持人自署

この署名が旅券の署名欄にそのまま転写され旅券のサインとなりますので、必ず申請者本人が署名してください。

- なぞり書き、2段書き、よごれやかすれたもの、はみだし、通称名での署名などは受付できません。
- ローマ字で署名される場合は、綴りミスのないよう注意してください。
- 小学生以上の方は必ず申請者本人が署名してください。(ひらがなでも結構です)

例

外務 太郎

Taro Gaimu

例

幼児等がひらがなで書く場合

がいむ じろう

- 乳幼児(小学生未満の方)の署名を代筆する場合の記入方法

例

子(外務次郎)の署名を母が代筆する場合

外務 次郎

外務花子(母)代筆

Jiro Gaimu

By H. Gaimu (mother)

- 身体の障がい等で署名が困難な場合は、事前にご相談ください。

【刑罰等関係】●必ず申請者本人が記入

申請者本人がよく読んで、あてはまる方の□に✓印を明確につけてください。「はい」に該当する方は、別途手続きが必要となりますので、必ず事前に奈良県旅券事務所(0742-35-8601)にお問い合わせください。「はい」の場合、高田旅券センター・橿原市バスポートセンターでは申請できません。また、代理提出もできません。

記入上の注意	(1) 黒インク又は黒ボールペンで枠からはみ出さないように記入してください。(消えるインク不可) (2) 「所持人自署」欄の署名を書き損じた場合(枠からはみ出し、なぞり、かすれ等を含む)は、訂正が出来ませんので、新しい申請書に書き直してください。 (3) 訂正するときは、書き間違えた箇所を二重線で消し、正しい内容を書き加えてください。なお、氏名のヨミカタ、ローマ字及び刑罰等関係欄を訂正する場合には、二重線で消し署名してください。 (4) 申請書に記入した氏名表記(ローマ字つづり)は今後変更することはできません。
写真	写真の裁断、貼付は窓口で行います。 注意 1. 単 2. 6ヶ月以内に撮影したもの 3. 正 4. 縦向き(縦向きの場合) ※貼付した写真は旅券に転写されます
氏名	ヨミカタ(カタカナで記入。濁点及び半濁点は同一マス内に「ガ」「バ」等と記入してください。) 姓 名 外務 太郎 姓 名 GAIMU TARO 訂正する場合
所持人自署	(この署名は旅券にそのまま転写されます) 外務 太郎 (枠からはみ出さないように署名してください)
旅券番号	※今までに旧姓も含め旅券の発給を受けたことがありますか。 ☒ 有 ☐ ない もし、発給を受けたことがある場合は、最後に発給を受けた旅券について記入してください。 M Q 1 2 3 4 5 6 7 発行年月日 西暦で記入 1 9 9 8 0 9 0 1 最後に発給を受けた旅券に記載の姓をローマ字、左詰めで記入してください。 GAIMU この申請書を提出する日の年齢 20歳以上の場合は、下欄の()内に「5」と必ず記入してください。 (例えば、by A. YAMADA (Mother) や by A. YAMADA (Father) など) 私は有効期限が(5)歳の一般旅券の発給を希望します。
現住所	〒 631-0821 奈良市西大寺東町2丁目4番1号 ファミリーマンション ΔΔΔ号 電話 0742 (35) 8601 携帯 090 (ΔΔΔΔ) ΔΔΔΔ その他勤務先など日中の連絡先 (株) ΔΔ 電話 0000 (X X) X X X X
日本国内の緊急連絡先	住所 現住所と同じ 氏名 外務 一郎 申請者との関係 父 電話 0742 (35) 8601
刑罰等関係	※次の各事項に該当しているか否か、□に✓印を記入してください。 (本人又は法定代理人が記入してください。) 1. 外国で入国拒否、退去命令又は処罰されたことがありますか。 ☐ はい ☒ いいえ 2. 現在日本国法令により起訴され、判決確定前の状態ですか。 ☐ はい ☒ いいえ 3. 現在日本国法令により、仮釈放、刑の執行停止又は執行猶予の処分を受けていますか。また刑の執行を受けなければならない状態にありますか。 ☐ はい ☒ いいえ 4. 旅券法違反で有罪となり、判決が確定したことがありますか。 ☐ はい ☒ いいえ 5. 日本国旅券や渡航書を偽造したり、又は日本国旅券や渡航書として偽造された文書を行使して(未遂を含む)、日本国刑法により、有罪となり、判決が確定したことがありますか。 ☐ はい ☒ いいえ 6. 国の援助等を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律を適用され外国から帰国したことがありますか。 ☐ はい ☒ いいえ
国籍	現在外国の国籍を有していますか。 (※該当する枠内に✓印を記入してください) 外 国籍 ☐ はい ☒ いいえ 取得年月日 年 月 日 どの国の国籍ですか。 ☐ どの方法で取得しましたか。 外国籍の父又は母の子として出生 ☐ 外国での出生 ☐ 外国人との婚姻又は養子縁組 ☐ 帰化申請又は国籍取得届出 ☐

☆ヘボン式ローマ字について、次のものは、以下のとおりとなります。(特に誤りやすいので注意してください。)

し	SHI	ふ	FU	しゅ	SHU	ちゅ	CHU	じゅ	JU	撥音	B・M・Pの前にNの代わりにMをおく (例) なんば NAMBA
ち	CHI	じ・ぢ	JI	しょ	SHO	ちょ	CHO	じょ	JO	促音	子音を重ねる (例) はっとり HATTORI ※CのときはCの代わりにTをおく (例) はっちょう HATCHO
つ	TSU	しゃ	SHA	ちゃ	CHA	じゃ	JA	りょ	RYO	長音	次のような場合は、U・Oは記入しない。 おおの ONO ゆうき YUKI こうの KONO しょうじ SHOJI さとう SATO ようこ YOKO

※ヘボン式以外の氏名表記を希望される場合には、申請書の代理提出ができない場合があります。詳細はお問い合わせ下さい。
※表記についてご不明な点があれば、事前にお問い合わせください。

の箇所は必ず申請者本人が署名・記入してください。

- 濁点は同一マス内に
- 戸籍どおりの文字を
かい書体で正確に
- ヘボン式ローマ字
大文字活字で
- 戸籍どおりに番地まで
正確に
- 「ある」「ない」どちらかに
✓印を
- 紛失等で旧旅券を持参できない
場合でも過去に取得した事があ
れば「ある」に✓印を記入
- 最後に発給を受けた旅券
について記入
旅券番号等がわからない場合は、
空欄のままにして、申請時に申
し出してください。
- 20歳以上の方は、必ず
「5」と記入
- 10年用申請書にはこの
欄はありません
- 3日以内に紛失(焼失)
届出を行っている場合は、
□に✓印を

- 正確に記入
- 勤務先等がある場合は
記入
- 該当する方の□に✓印を
- 国内で連絡のできる家族・
親族等と一緒に海外渡航
しない方を記入

出発予定日	令和 2 年 12 月 / 日	※主要渡航先での滞在期間	☒ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月以上
※ 次の各項目のいずれかに該当する場合には、該当する項目の□に✓印をつけた上で、下記の渡航目的及び渡航先を記入してください。 ① ☐ 表面の刑罰等関係欄に該当する事項がある場合 ② ☐ 旅券の二重発給を受けようとする場合			
渡航目的(具体的に) ②の場合は、二重発給が 今回の渡航先(渡航先国名と、コード表を参照して国コードを記入してください)			
国名		コード	
旅券面の氏名表記(表面のヘボン式と異なる場合のみローマ字活字大文字で記入) (姓) (名) ヘボン式以外の表記を特に必要とする事情のある方のみ記入してください。 注: 旅券面への表記可能な文字数は姓・名・スペース合わせて37字(別名併記を除く)までです。 記号(・〜など)や、数字(ⅡⅢなど)等は記載できません。但し、別名併記の() は記載可。			
外務大臣殿 大使 総領事 殿 この申請書の記載は事実と相違なく、旅券法第3条の規定により、一般旅券の発給を申請します。 この申請書に記入した氏名の表記を今後変更しないことを誓います。	令和 年 月 日	申請者署名	
法定代理人(親権者、後見人など)署名		記入不要	
(署名は必ず本人が戸籍に記載のとおり、かい書体で行ってください(署名が困難な場合を除く)。また、申請者が未成年者又は成年被後見人の場合は、法定代理人の署名も併せて必要です。なお、署名が困難な場合であって、法定代理人でない者が記名する場合には、その者の氏名も記名してください。本人確認のために 印鑑登録証明書を使用する場合は、押印が必要です。)			

代理提出をする場合のみ記入してください。

申請書類等提出委任申出書

(法定代理人が申請者に代わって申請書類などを提出する場合には、本様式の提出は不要です)	
申請者記入	私は旅券法第3条第4項の規定に基づき、下記の引受人を通じて旅券申請書類等を提出したたく、申し出ます。 令和 年 月 日 申請者署名 外務 花子 引受人氏名 外務 花子 申請者との関係 妻 引受人住所 奈良市西大寺東町2丁目4番1号 ファミリーマンション ΔΔΔ号
引受人記入	私は本件申請に係る必要書類等を申請者に代わり提出することを引き受けました。私が提出する申請者の所持人自署及び申請者署名は本人自筆のもの(又は適正な記名)であること及び写真は本人のものに相違ないことを確認します。私は、過去5年間、旅券の不正取得に係わったことはありません。 令和 年 月 日 連絡先電話番号 0742 (35) 8601 引受人署名 記入不要 生年月日 明治・大正・昭和・平成・令和 5 2 年 / 月 / 日
注意事項	1. 申請者の指定した者が、代わりに申請書類などを提出する場合には、提出者本人を確認するに足る書類等を提示(出)してください。 2. この申請による旅券取得が日本国法令の罰則に該当する場合、申請者に代わって必要書類などを提出した者も罰せられることがあります。 3. 署名は必ず本人が行ってください(署名が困難な場合を除く)。なお、署名が困難な場合であって法定代理人でない者が記名する場合には、その者の氏名も記名してください。

- この欄は、外国人と縁故関係があるなど「ヘボン式以外の氏名表記」を特に必要とする事情のある方のみ記入してください。
- ヘボン式以外の氏名表記には、綴りを公証する文書や必要性を証明する文書の提示が必要となる場合があります。
- 申請者の代理提出ができない場合もありますので、詳細はお問い合わせ下さい。
- ペンネーム、芸名、通称等はお取り扱いできません。

令和2年12月28日から、申請者署名欄が削除され、同欄への署名は不要になりました。

- 申請者が未成年者の方は、ここに親権者の自筆署名(かい書体)が必要
- 申請者が成年被後見人の方は、ここに後見人の自筆署名(かい書体)が必要

●必ず申請者本人が記入

- 代理の方が記入
- 代理の方の本人確認書類(原本)が1つ必要